
他大学のoffenseチームの特色と、 プレー傾向に関する統計分析

テ組 42121508 横川昂永
ト組 42101093 飯村周真
ク組 42111333 須藤芳永
シ組 42102633 伊牟田憲



offense(前提)

これから慶應大学と同じTOPリーグに所属する他大学のoffenseチームの傾向を見定めていく。

アメフトにおいてdefenseは、offenseを基にしたうえで考えなければならない。相手のoffenseがどのような戦術で来るのか、チームごとにデータ上の傾向や特色はそれぞれ異なる。そしてこれは年によっても異なり、コーチの考え方や選手層によるものである。

そこで重要なのがスカウティング(相手チームの分析)であり、これを行なう事で判断力や動くスピードが向上され、defenseメンバー1人1人の守備範囲が広くなるという利点がある。

注意したいのは収集したデータと実際のプレービデオ(HUDL)を見て感じる違いである。データで示されてあることに加え、試合状況を加味しなければ正しい結論にはたどり着かない。

法政大学(動画を見て)

・表(軸)Run Play(Zone) ⇄ 裏Fk Pass

→どのDriveでも、一発デカいの(1 shot)狙ってくる

・1シリーズ内で、長時間のドライブはせず、1 shotで得点を取りに来る

・軸はOL

・Base Playを様々なperでやってくる

(Formation Offense)

・対戦相手ごとにRunのBlockingを変えている

・前週の早稲田とは異なり、点差によって戦い方を変えてくる

(catch up → Passが増える)

・Passは1 targetではなく投げ分けている

注意

・Hudl breakからplay開始までが早い

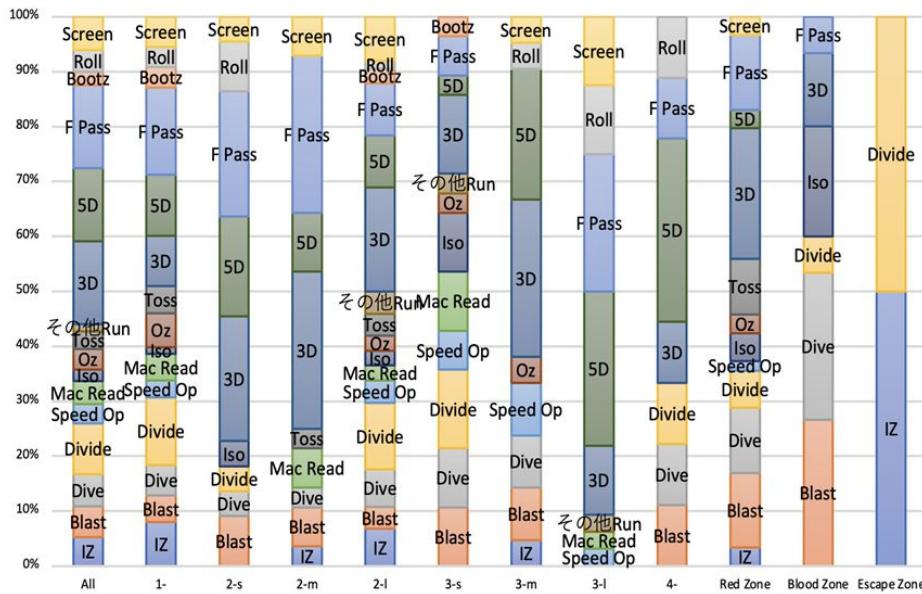
・注意したいのは、春のシルスタ戦などは

JetのPlayが見られないこと

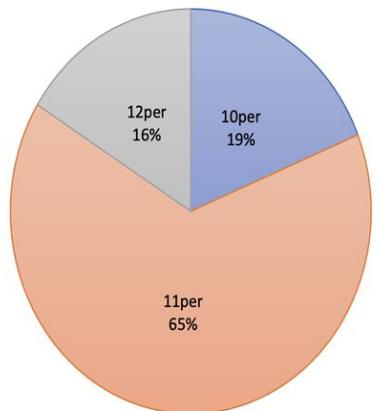
・コーディネーターが同じプレー コールをくり返しがち

法政大学(2023春)→実際のデータ

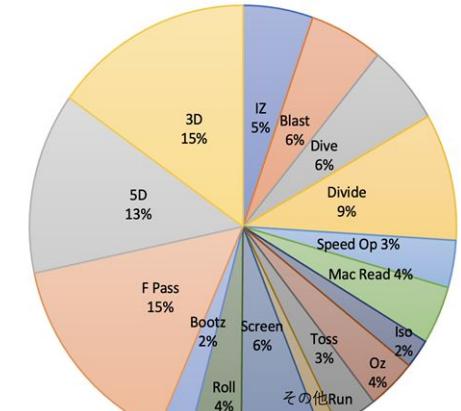
・Down/Distance別



・Personal別

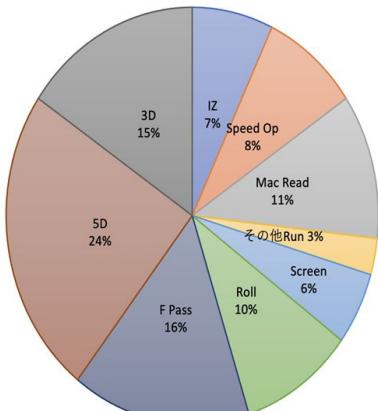


・Play別

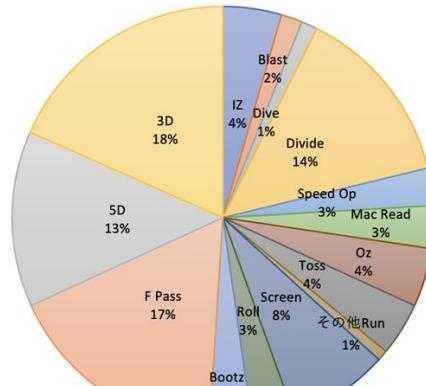


法政大学(2023春)

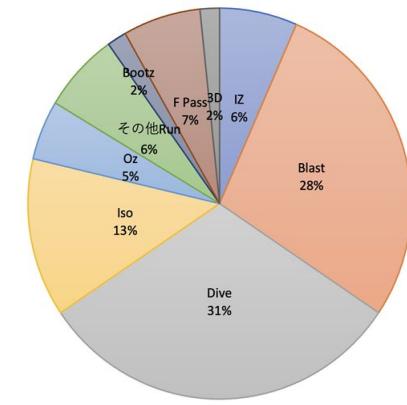
・10per



・11per



・12per



QB(司令塔)

谷口雄仁

QB #4

高校：法政二

学年：3 身長：180cm 体重：82kg

• 特性

Depth : 1本目
Type : 基本的にポケットムーブを得意とするパス一型QBだが、スクランブル能力も高い

・プレー

Drop Back : 1歩、3歩ワンヒッチが多い、リズム感のあるドロップバック
How to Read : ブレスナップの時点でDBのかバーをおおよそ把握し、スナップ後は目線でディフェンスを動かして。
よく投げるPass : フラット、5y hook, 単騎タテ、コーナー、ポストコーナー
よく見るターゲット : 両No1の比率が多い。
vs Pressure : ポケットムーブ能力はかなり高く、ブレッシャーを目前にしても投げ込もうとする意識がある。そのこともあり、時折インターを組む強道の球を投げてしまっている。

1Shot? : yes

→気をつける事：肩が強くどの態勢からでも奥を狙ってくるのでケア

- **Tips**

Set(足の前後差) :

目線、動き：わざと投げるターゲットとは逆の方を最初に向いて、ディフェンダーを油断させようとしている。

その他、癖：無理投げが若干ある

法政
Data Analyzing ~Passing Zone~

Year : 2023春 QB : 4 (谷口)

Hash L(31 プレー)

Hash R(34 プレー)

0	3.2	6.5	5.9	0	5.9
25.8	0	12.9	11.8	14.7	2.9
3.2	0	16.1	11.8	2.9	11.8
9.6	12.9	9.6	14.7	14.7	2.9

色 : 0% ~10% ~15% ~20% 20~%

動画解析

選手の身体の動きによって傾向がわかるかもしれない

- ・セットの癖
- ・肩の向き
- ・動き

など

※データ収集中です